

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 8 月 20 日 更新

事務事業名		保育所整備助成事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	2 福祉の健康				所属部	こども部	課長名	衛藤 和博
	施 策	4 子育て支援の充実				所属課	こども未来課	担当者名	原田 奈利
	施策の柱	16 子育てと仕事の両立支援				所属班	保育班	(内線)	1183
予算科目		会計一般	款 3	項 2	目 3	事業連番 11449	根拠法令	保育所等整備交付金	
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 25 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	待機児童解消のための保育所等の創設や老朽改築による保育環境整備などの施設整備に要する費用の一部を補助することにより、子どもを安心して育てることが出来るような体制整備を行う。
【業務の流れ】	①施設整備計画の確認 ②県事前協議 ③県補助金申請 ④交付決定 ⑤工事着工～竣工 ⑥竣工確認 ⑦実績報告 ⑤補助金請求～支払い
【主な予算費目】	補助金
【意見や要望】	待機を余儀なくされている保護者や新たに入所を申し込む保護者からは、保育所整備の要望がある。議会からも早急な待機児童対策が要望されている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
①手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO)		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
公募により新設保育所設置認可申請者を決定した。		公募で決定した事業所により新設保育所を竣工し、補助金支出及び認可申請を行う。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
⇒ ア:施設整備により定員増を行う保育所等	園	保育所新設に伴う補助金の増	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	
施設整備を行う事業者	園	⇒ ア:施設整備を希望する保育所等	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	
定員増できるよう施設を整備する	園	⇒ ア:施設整備できた保育所数	
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
施設整備により、児童の健全育成ができる。また、保護者は安心して仕事ができる。			全体計画
			～ 年度
			0

(2)各指標・総事業費 の推移		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込
① 活動指標	ア園		1	1	0	0	1	0	0	0
	イ									
② 対象指標	ア園		1	1	0	0	1	0	0	0
	イ									
③ 成果指標	ア園		0	1	0	0	1	0	0	0
	イ									
投資 入費 量	事業 費 内 訳	国庫支出金	千円		118,364			201,815		
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円		14,796		19	25,226		
	(A) 事業費計	千円	0	133,160	0	19	227,041	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	0	0	0
		延べ業務時間	時間	1,050	600	500	550	500	0	0
		(B)人件費計	千円	4,105	2,283	1,992	2,003	1,992	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	4,105	135,443	1,992	2,022	229,033	0	0	0

事務事業名	保育所整備助成事業	所属部	こども部	所属課	こども未来課
-------	-----------	-----	------	-----	--------

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5 年度的事後評価、ただし複数年度事業は 5 年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5 年度目標達成度評価	☒ 達成した スケジュールどおり、新設保育所設置認可申請者を決定できた。	☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	② 6 年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 施設整備について事前協議を済ませているため、目標は達成するものと見込まれる。	☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 保育所の協力を得ながら最大限の施設整備を行なっている。	☒ 向上余地がない ⇒【理由】
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業がない。	☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 施設整備のほかに家庭的保育など空き施設等を利用した保育サービスもあるが、施設整備については国が定めた基準があるため、削減余地はない。	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 必要最低限の人員のため削減の余地はない。	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 市町村は、児童の保育に欠けるところがある場合においては、保護者からの申込みがあったときは、それらの児童を保育所において保育しなければならない。	☒ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 市町村は、児童の保育に欠けるところがある場合においては、保護者からの申込みがあったときは、それらの児童を保育所において保育しなければならない。	☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（CHECK）

--

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr> <tr> <th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr> <td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																						